

## 従業者向け

## 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員配置は適切であるが、子供の状態に応じた対応としては職員を増やしてほしい
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	スペースとして特別に設けるのは難しいがカーテン等で仕切って別空間を作るなど工夫はしている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	外部評価を行っているか報告がないのでわからない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	昨年度と同じものを使用するのか新年度で改めて作成するのかわからない
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたツールは使用していないが日々の行動変化等は会議等で情報共有している
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		

児童	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後には行っていないが翌営業日の朝に行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		地域交流のみ行われている様子が伺えない
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	わからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	研修を設定してもらっている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	改めて他事業所との交流は設けていないが地域の施設を利用する事で子供同士の交流が行われている
保護者への支援	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
保護者への支援	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		れいめい祭
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		

## 保護者向け

## 放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただきます。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		3	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	9				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	2	5	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3	5	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4	4	保護者同士の関わりがないで分かりません
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				

	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		1	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	2			
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2		1	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	3		3	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	3		3	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1			毎日楽しみにしています
	29 事業所の支援に満足していますか。	9				日々子供の成長しているのも一緒に職員の方と感じられありがとうございます

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所サニーズマーケット			
○保護者評価実施期間	令和7年1月11日			令和7年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日			令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化しないように実施している	開所当初より運動活動（粗大運動）、創作活動（微細運動）、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを実施しています	現在のチャレンジ活動に加え新たなチャレンジが出来る機会を設けられる活動を増やすように努力をします
2	子ども達に対して安心感をもって利用できるように配慮をおこなう（リラックス出来る居場所作り）	寛容さをモットーに支援を行っています。大人の都合の良い子どもに育てる訳ではなく、個々が自分らしくいられる場所作りを行っています。 ホッと出来る空間作りに努めています。	限られた空間ではありますが、各々の多様な特性に応じて視覚的、聴覚的な感覚過敏のお子様に対しての環境作りは今後も工夫をしながら行っています
3	自己の課題克服のため未来設計ではなく、将来自身で自立していくことをイメージしながら支援目標を設定しており、支援もその目標に沿っておこなっています	ケース会議において児発管と常勤スタッフにより各個人の個別支援計画の作成に携わっており、本人の最善の利益を考慮した目標設定を行っています  ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています	個別支援計画のモニタリングは毎月行っていますが、目標に沿った支援が出来ているかの確認は、1ヶ月で区切らずにその都度確認を行い、支援に反映させていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部に対しての情報発信（特にSNSにおいて）	現在ネットにおいては三山黎明会のホームページにて自己評価や支援プログラムの記載のみでInstagram等のツールを使った情報発信を行っていない	スタッフのSNSに対してのスキルアップを行い、将来的には活用と強化を行っていく
2	家庭に対してペアレントトレーニングや研修会等の開催を行っていない また父母の会の活動立ち上げを現在まで行わず、保護者同士の交流の機会が設けられていない	ペアレントトレーニングを実施するスキルがスタッフに不足しております開催を行っていません	ペアレントトレーニングにおいては将来的には外部の講師を招いて開催するが出来る様に考慮していきます 父母の会に関しては設置を望まない保護者の方も一定数いるため設置に関しては慎重にすすめています
3	スタッフの専門性の不足	当事業所では保育士、児童指導員といった専門職のスタッフを配置していますが、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士や精神保健福祉士等の専門スキルを持ったスタッフの配置ができていません	今後も積極的に専門性のあるスタッフの採用募集を行っていきます

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所サニーズマーケット

公表日 令和7年12月1日

利用児童数 11人

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				指導訓練室床面積目安10名定員24.7m <sup>2</sup> のところ、55.2m <sup>2</sup> を確保しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		3		トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化をしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		指導訓練室の毎日の清掃と消毒を実施しています
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		6ヶ月に1回の個別支援計画のP D C A、月に1回の職員会議、ケース会議、週に1回の週間会議、毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議を実施しています
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2				運動活動（粗大運動）、創作活動（微細運動）、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを立てています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	2	5		以前は他放ティとの連携の話もありましたが、コロナを経て立ち消えのようになりました。今後は各所との連携を図っていきます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3	5		その都度アドバイス等は行っていますが、日を改めてのペアレン特・トレーニングといった具体的な研修等は行っていません
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4	4	保護者同士の関わりがないので分かりません	保護者様からも保護者会の開催を希望するニーズが出ていないため、現状では保護者会の開催は予定していません
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		1		毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいている。年に1回法人の機関紙を発行し、配布しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	2				契約時の個人情報使用同意書に則り個人情報保護に努めています

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは法人で策定していますが、保護者にも周知できるよう指導訓練室にも掲示致します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	3	3		B C Pの策定と定期研修を実施しています。年に2回避難訓練を実施しています（火災と地震）
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	3	3		令和6年4月より安全計画を策定し計画に従った支援を実施しています。具体的な部分では3列シート以上の車両に関しては閉じ込め防止の安全装置を設置しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1		毎日楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			日々子供の成長しているのも一緒に職員の方と感じられありがとうございます	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所サニーズマーケット
------	------------------------

公表日 令和7年 12月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指導訓練室床面積目安10名定員24.7m <sup>2</sup> のところ、55.2m <sup>2</sup> を確保しています	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員基準に適した配置を行っています	人員配置は適切であるが、子供の状態に応じた対応としては職員を増やしてほしい
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化をしています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		指導訓練室の毎日の清掃と消毒を実施しています	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	指導訓練室は1部屋の構造となっており1場所のみカーテンで仕切る事が出来ますが、個別の部屋の用意をすることはできません	建物の申請上部屋を増やすことは出来ませんが、テントや仕切り、パーテーション等を活用して個別の空間が出来るように努めています
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		6か月に1回の個別支援計画のPDCA、月に1回の職員会議、ケース会議、週に1回の週間会議、毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議を実施しています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		昨年度の保護者様からの外部評価及び日々のご利用からの意見を活動に反映するように心がけています	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議の中で意見集約を行い業務改善につなげています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	法人を含め第三者による外部表は現在実施されていません	第三者委員会は法人での対応となり放ディ独自では出来ないのが現状です。時期は決定していませんが、将来的には委員会を設立する意向です
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内研修として年2回の法人合同研修会を実施しスタッフが参加しています。その他外部の研修会等にも積極的に派遣を行っています	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	社会福祉法人三山黎明会ホームページに公開してあります 報酬改定等の制度面の改正があるまでは現在の支援プログラムとなっています	昨年度と同じものを使用するのか新年度で改めて作成するのかわからない
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		支援マニュアルに沿ってアセスメント、ニーズ分析等を行い常勤スタッフで個別支援計画の作成にあたり、非常勤スタッフへ周知させています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ケース会議において児発管と常勤スタッフにより各個人の個別支援計画の作成に携わっており、本人の最善の利益を考慮した目標設定を行っています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ケース記録等を中心に各個人のアセスメントをとっており日々の支援に活用しています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		今年度より「健康・生活」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「運動・感覚」の5領域に沿った個別支援計画を作成し支援にあたっています 5領域の活動の内容を具体的に説明をした「支援プログラム」を法人のホームページにて公開しており、この支援プログラムに沿った支援を行っています	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会や週間会議において常勤スタッフ全員で立案し非常勤スタッフに周知させています	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		運動活動（粗大運動）、創作活動（微細運動）、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを立てています	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝の支援会議を毎日行い、その中で内容や役割分担等の確認をして支援にあたっています	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終了時に支援の振り返りを行いますが、時間内に終わらない場合は翌日の朝の支援会議を行っています	

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日の日誌に活動での出来事を記載し、個々のケース記録に反映しています	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		通常は6か月に1回個別支援計画の見直しを行います。支援計画の内容が本人に適さなくなってきた場合はその都度会議を設け、支援計画の見直しを行います	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインに則って支援を実施しています	地域交流のみ行われている様子が伺えない
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		定期的に選択活動を実施し、自己選択を行える機会を作っています	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議等に参画しています	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4	専門的な医療ケアを必要とする利用者様が現在いないので実施していません	今後医療的ケアが必要なケースが発生した場合は各所との連携を図っていきます
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校というよりも保護者様より1週間の予定、月の予定等を提供され送迎等に反映しています	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます	昨年度初めてサービス担当者会議として相互理解の場を設けました
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	現在まで高校を卒業して事業所へ移行した利用者様1名のみのケースでしたが実施されませんでした	保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	児童発達支援センター主催の研修等があればなるべく参加をするようになっていますが、直接的な連携は図っておりません	研修以外の連携を模索していきます
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	現在のところ積極的に他の関係機関との交流を行う予定はありません	改めて他事業所との交流は設けていないが地域の施設を利用する事で子供同士の交流が行われている
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	サニーズマーケット管理者が定期的に自立支援協議会に出席しています。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々のお子様の活動報告は連絡表に記載し、送迎時にも本人の様子を報告させていただきます。またラインにおいて細かにお知らせ等も行っています	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	その都度アドバイス等は行っていますが、日を改めてのペアレントトレーニングといった具体的な研修等は行っていません	保護者からのニーズが高まれば外部から講師を招き実施することも可能かと思いますが、現状では実施の意向はありません
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に重要事項説明書とともに説明を行っています。利用者負担等契約時と変化が出た場合はその都度説明させていただきます	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		サービス担当者会議等でニーズの把握と本人にとって有益となる支援を考え、個別支援計画として提示しています	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画作成時は保護者様に内容の説明をして了解を得てから本計画として支援にあたっています	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様より相談、問い合わせ等ありましたら、その都度必要な支援を行うよう心がけています	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	保護者様からも保護者会の開催を希望するニーズが出ていないため、現状では保護者会の開催は予定していません	保護者からのニーズがあがっていないため今後も保護者会等の計画をおこなう予定はありません
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		法人の苦情解決相談マニュアルに沿って苦情解決にあたっています	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいている。年に1回法人の機関紙を発行し、配布しています	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時の個人情報使用同意書に則り個人情報保護に努めています	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		利用者様には可能な限り言葉以外の視覚的な情報提示を心がけています	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		法人全体でのお祭り「れいめい祭」で地域の方達を招待して定期開催されます。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは法人で策定していますが、保護者にも周知できるよう指導訓練室にも掲示致します	

非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		B C P の策定と定期研修を実施しています。年に2回避難訓練を実施しています（火災と地震）	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		利用開始時のアセスメントにおいて服薬や疾病等の状況を確認しスタッフ間で周知をしています	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		日々の日誌に個々のアレルギーが確認できるように周知しています	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		令和6年4月より安全計画を策定し計画に従った支援を実施しています。具体的な部分では3列シート以上の車両に関しては閉じ込め防止の安全装置を設置しています	
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画においては保護者様への周知として指導訓練室に掲示してあります	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月の職員会議においてヒヤリハット、事故報告等の確認、対策を行っています	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内部、外部において虐待防止研修を定期的に実施しています	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		マニュアルとして身体拘束承諾書があり、必要と思える対象者には適切な対応をして承諾を得ています	